

全区舞台に全国都市緑化よこはまフェア ～歴史と未来の横浜・花と緑の物語～



平成29年3月25日から6月4日までの72日間、全国都市緑化よこはまフェアが開催されました。

メイン会場は、港の特徴を生かした山下公園や港の見える丘公園などのみなとみらい地区周辺の「みなとガーデン」と、丘陵地の地形を生かした横浜北西部の横浜動物の森公園の一部を会場とした「里山ガーデン」でした。両会場ともに、華やかな季節の花に誘われ多くの市民や観光客が訪れました。

「里山ガーデン」には小学生が動物プランターに絵を描く企画で参加したり、薪割りや丸太切りの体験ができたりする場所があるなど、様々な工夫がありました。花壇などには多くのボランティアの協力があり維持されたと聞きます。樹林の中の遊歩道は森の魅力

を感じられ、ベンチに座って空を見上げると、木漏れ日が心地よく、暑さを忘れてしまいます。花壇の奥にも広がる豊かな緑のおかげです。かつてこの地域には、里山の人々の暮らしがあり、水辺には様々な生き物がいました。この場所は市民や子供達が緑豊かな横浜の森を知り、里山の循環型の暮らしの様子や生物多様性について学ぶのに適した場所だと思います。秋にはこの里山を公開する予定と聞いています。ぜひ、里山の暮らしぶりや、生物多様性について楽しく学べるような工夫を期待します。

文：加茂千津子 委員



©ITOON/GN2017

市民推進会議 進士五十八座長 からのコメント



全国都市緑化よこはまフェアは横浜市内全18区でも行われました。全国的にもめざらしく、すばらしい取組でした。この取組で横浜市民の緑地生活が大きく変わり、グリーン・エコライフスタイルの創造につながったと思います。緑は子どもたちの質を上げ、アクティブに動けば、みんな元気になって、その元気が健康にもつながります。緑は市民生活の質向上に直結するのです。

横浜で緑化フェアを開催する機会に、横浜の公園とみどりのまちづくりの歴史をアピールすべく、これまでの緑施策の取組を振り返ろうと環境創造局の何十人もの職員が原稿を書いて冊子を作りました。ぜひ多くの人に読んでいただきたいと思います。

公園とみどり 横浜の150年



横浜の公園とみどりの歩みを紹介するパンフレットです。横浜市市民情報センターで販売しています。(1冊700円)



環境創造局HPから閲覧・ダウンロードできます。

公園とみどり 横浜の150年

横浜みどりアップ計画とは？

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています(個人市民税均等割に年間900円、法人市民税に均等割の9%相当額を上乗せ)。計画書は、環境創造局ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報センター、環境創造局政策課で閲覧できます。

環境創造局ホームページ
http://www.city.yokohama.lg.jp/
kankyo/midoriup/



横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは？

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

市民推進会議

みどりアップQとは？

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっと知る、なぜなに?(クエスチョン)」と、「緑のある暮らしの質(クオリティー)を考える」。市民目線でみどりアップ計画を探っていく市民推進会議のレポートです。

みどりアップQ

緑 × まち × 未来を考えよう

Vol.10
Sept 2017

横浜みどりアップ計画
市民推進会議レポート

Q みどりのルート1 国道・地域を緑で繋ぐとは？

まちが国道によって分かれ、ごみが増えてしまった。

そこで思い描いたのは里山だったころの風景。

国道沿いに緑を増やすことで、店舗や地域が繋がり、ごみも減った。

それが「地域緑のまちづくり」事業で実現した、みどりのルート1の活動です。

—緑をつくる、だけではなく楽しむ—そんな活動を取材しました。(鶴見区北寺尾 国道1号沿い)



みどりアップQ 第10号

(市民推進会議広報誌 第30号)平成29年9月発行
編集：横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行：横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ 横浜市環境創造局政策課(事務局)

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
Tel: 045-671-4214 Fax: 045-641-3490
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp

FSCのマーク
スペース
(印刷会社で入れる)



地域緑のまちづくりを 続けてきた楽しみ、課題 そして「みどり」への願いを聞いてみたい!



大きな道路(国道1号)に
たくさんの緑があふれています

鶴見区北寺尾地区の国道1号沿いでは、横浜みどりアップ計画の「地域緑のまちづくり」を活用し、住民と企業が一緒になって緑でまちを繋げたいと、「鶴見「みどりのルート1」をつくる会(以下、みどりの会)」が活動しています。道路によって分断されたまちを繋ぐ、みどりをつくる・楽しむ取組についてレポートします。

取材 長瀬里佳 委員

発起人 高田さんの 想い



きっかけの写真を手に
想いを語る高田さん

国道1号を車で走ってみると、突然現れるたくさんの緑が目につきます。

「国道ができる以前の写真を目にした時、生活とともにあったであろう緑豊かな風景が心に留まりました」そう語るのは、みどりの会の会長の高田房枝さん。

国道ができ、賑やかで便利なまちになりましたが、国道は道幅が広いので、地域の交流が途絶えがちになりました。また、もともとこの地区の沿道は、歩道が狭く、街路樹もなく、ごみのポイ捨ても多くなり、治安の悪い雰囲気すら感じるようになっていました。そんな時に、緑豊かな以前の写真を見て、緑を増やし、まちに繋がりのある温かい地域づくりを行いたいとの想いが沸き上がってきたそうです。

当初は、高田さん一人で、横浜みどりアップ計画の「地域緑のまちづくり」の事業を知り、市へ緑の計画を持っていきました。市と相談しながら、自らも緑化を学び、さらには、周辺地域の学校を始め、店舗を持つ企業などにも声がけしていくことによって、現在は20を超える企業や地域住民と協働する会として活動しています。

みどりの力を信じて

現在みどりの会は、月一回の定例会議や、草取り、落ち葉掻きやごみ拾いを行う維持活動、その他イベントの開催などの活動を行っています。参加している企業や住民の方々は、「ごみが減った」「歩いていて気持ち良い」「企業として、地域と繋がれた」と言います。ある店舗では、従業員全員が活動を理解できるよう順番に活動に参加したり、社内の緑の活用見本店舗として表彰されることを目指していたり、それぞれが会の活動以外にも工夫して積極的に取り組んでいます。

高田さんは、今でも周辺の企業などに声を掛けており、みどりの会に参加するメンバーは増え続けています。周辺の市民の森や公園を緑で繋げることは生物環境を良くし、人も住みやすくなります。ただ緑を増やすのではなく、価値ある緑でまちを繋ぎたいという高田さんの強い想いが、企業や住民の方々に広がっています。



トンボやチョウや鳥がとんでくる「沿道里山」を目指し、その想いをイラストで表現し、地域で共有しています

どんな緑を育てているの?

国道沿いに植えられた緑は、一見高木だけに見えますが、実は低木、中木、高木、つる植物と様々なものが植栽されています。シンボルツリーは、この地域に昔からある、ケヤキやクスノキが中心。飲食店が多い地区なので、なるべく維持管理に大きな負担がなく、きれいに保てることを意識し、花よりも木などの緑を中心に植栽を行いました。木はだんだん大きくなり、自分達だけでの手入れは大変ですが、今では造園会社の人も応援に来てくれています。また、季節の花を寄せ植えするなど、それぞれで緑や花の植栽を行う店舗も次第に増えてきました。



Before

▲緑化実施前



月に一度の維持活動の様子



After

店舗の周りに5~7mのケヤキで木陰をつくりました

▲実施後

Q. 地域緑のまちづくりとは?

A 地域が主体となって、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々なまちで、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民と市との協働により地域ぐるみで緑化を進める事業です。

地域緑のまちづくり 検索



これからのみどりの会

平成25年から始まった市との協働による「地域緑のまちづくり」の取組としては、今年度末で終了しますが、今後もみどりの会としての活動は継続していきます。「どのように継続していくか不安はありますが、これまでの活動で培った自治会との連携や参加店舗の企業力が、活動の根幹として着実に根付いてきました」と高田さん。今は継続に向けて、お揃いのベストを着用して地域での活動の認知度を高めたり、学校の活動と連携したりすることで、さらなる繋がりがアイデアが広がっています。

みどりアップ計画の取組により、まちに繋がりのある温かい地域づくりを行いたいという一人の想いが地域の想いになり、企業や住民など、様々な繋がりを生み出していました。

これからのみどりの会も楽しみです。

ここにみどり税

地域緑のまちづくり費用(緑化整備費、維持管理・活動費)

Q. 緑化の効果は?

A 緑には、ヒートアイランド現象の抑制、生物多様性の保全や美しいまちを作る景観形成など、市民の暮らしを支える多様な機能があります。また、樹木には水分の蒸発により空気を冷やす機能があるため、街路樹などの市街地の緑は、緑陰空間を形成し、都市の中での貴重なクールスポットとなります。



みどりの会の会員の方々